

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (10月15日～10月25日分)

NTT 東日本、フレッツ ADSL に 8Mbps コースを追加

NTT 東日本は、フレッツ・サービスとして提供している ISDN、ADSL、光ファイバを利用したインターネット接続サービスについて新たなメニューの追加および料金値下げを実施することとし、総務大臣に料金の届出を行ったと発表した。

このうちフレッツ ADSL では、現行料金の値下げと 8M タイプが新設される。

「フレッツ・ADSL 8M タイプ」は ADSL のフルレート方式 (G.992.1 Annex C) を用いた、下り最大 8Mbps、上り最大 1Mbps で ISP と接続するベストエフォート型サービス。月額料金は電話回線と共用する場合は 3,100 円、共用しない場合は 4,750 円。レンタルの場合は別途モデム利用料が必要となる。

サービスの受付開始は 2001 年 11 月下旬、サービス開始は同 12 月 25 日より。サービス地域は東京 23 区の一部より開始し、2001 年度内には概ね東京都全域及び首都圏に提供地域を拡大、また、2002 年度第 1 四半期までには県庁所在地級都市に拡大して行く予定としている。

現行の「フレッツ・ADSL 1.5M タイプ」は月額料金が電話回線と共用する場合は 3,100 円から 2,900 円、共用しない場合は 4,750 円から 4,550 円と 200 円ずつ値下げされる。値下げは 2001 年 12 月 1 日より実施される。同時に「フレッツ・ISDN」についても月額料金が現行の 2,900 円から 2,800 円に値下げされる。

また、マンション向けに光ファイバを利用したインターネット接続サービスとして提供している、B フレッツ「マンションタイプ」については現行の提供条件である 10 ユーザ以上の契約が見込める場合という単一のプランを 2 つに分ける。

B フレッツ「マンションタイプ」プラン 1 では、提供条件を 8 ユーザ以上と緩和した上に、月額料金を現行の 3,800 円から 3,500 円と値下げした。さらに提供条件を 16 ユーザ

以上一括申込とした場合に適用されるプラン 2 を新設、月額料金を 3,000 円と設定している。申込受付開始およびサービス開始は 2001 年 12 月 1 日となっている。

さらに、フレッツ・ADSL もしくはフレッツ・ISDN を利用している電話回線が、「マイラインプラス」を市内通話と同一県内の市外通話の 2 区分とも NTT 東日本に登録している場合には、各月額利用料を 10%割引するセット割引の実施も発表された。2001 年 12 月の利用料金から適用される。

なお、NTT 西日本も同様の発表を行っているが、8Mbps の ADSL サービスについては言及されていない。

(10/25)

Liquid Audio、買収提案を受けて いることを公表

米 Liquid Audio は、同社の株主でもある投資会社 Steel Partners から買収提案に関する書簡を受け取ったことを公表した。

提案条件は Liquid Audio 株を 1 株当たり \$3.00 の現金で購入するというもの。Liquid Audio では、次回の定例役員会にてこの提案を検討する。

また、Liquid Audio の株主である musicmaker.com, Inc.からは臨時株主総会を開くよう要請を受けたが、これを拒否したことも公表した。Liquid Audio の内規では株主が臨時株主総会を開くよう要請することは認められていない。

(10/25)

iTSCOM、最大 30Mbps を初めと するブロードバンド 3 コースを発表

イツ・コミュニケーションズは、ケーブルインターネットサービスを 1 コースのみから最大 30Mbps の通信速度を含む 3 コースにメニューを変更し、併せて料金の改定を行うと発表した。

新設するコースは「かっとびワイド」、「かっとびプラス」、「かっとびジャスト」の 3 つ。

「かっとびワイド」はヘビーユーザー向けに

新設するコース。イツコムが新しく提供する次世代型ケーブルインターネットサービスで、通信速度は下り最大 30Mbps 上り最大 10Mbps を実現する。この新しいサービスを提供するためにイツコムのネットワーク環境を光ファイバーケーブルと同軸ケーブルを組み合わせた HFC (Hybrid Fiber and Coaxial system) ネットワークに切り替えており、年度内には全エリアの半分が完了する予定。これに合わせて、2002 年春に一部地域よりサービスを開始し、その後、サービス地域を順次拡大していく予定としている。料金は未定で、オプションサービスであるファミリーバック (メールアドレスが最大 5 つまで登録、ホームページ 10MB まで開設が可能) やダイヤルメールサービスを含み、新たにローミング (国内・国際) サービスも検討中としている。

「かっとびプラス」は現在ケーブルインターネットを利用しているユーザーが自動的に変更となるコース。通信速度は下り最大 8Mbps 上り最大 256Kbps、月額料金は 5,200 円から 2,500 円 (モデムレンタル料 700 円別途必要) に値下げするとともに、ファミリーバックをセットにした。「かっとびプラス」は 2001 年 11 月 1 日よりサービスを開始する。

「かっとびジャスト」は、ライトユーザー向けのコース。通信速度は下り最大 512Kbps 上り最大 128Kbps で、月額料金は接続料、通信料込みで 2,200 円 (モデムレンタル料 700 円別途必要)、メールアドレスは 1 つ設定できる。「かっとびジャスト」は 12 月 1 日よりサービスを開始する。

イツコムのケーブルインターネットサービスは、東急ケーブルテレビの社名で 1998 年 4 月にサービスを開始、この 2001 年 10 月末の契約者数は 5 万世帯を突破する見込み。集合住宅についても 2001 年 9 月末現在で約 3,400 棟、6 万 5 千世帯が利用可能となっている。

また、イツコムではグローバル IP アドレス配布サービスについても 2002 年度中にはサービスを開始できるよう準備を進めているとしている。

(10/24)

アップル、HDD 内蔵の携帯型デジタルオーディオプレーヤーを発表

アップルは、ハードディスクを内蔵した携帯型デジタルオーディオプレーヤー「iPod」を発表した。発売日は2001年11月10日、メーカー希望小売価格は47,800円。

iPodは、ステンレス製の小型筐体(61.8×102×19.9mm、185g)に1.8インチ5GBのハードディスクを内蔵しており、20分間の音飛び防止用のメモリも搭載している。

インターフェイスにはFireWireを採用、USB経由のプレーヤーと比較して約30倍の速度で楽曲ファイルを転送できる。

電源にはリチウムポリマー充電電池を採用、連続10時間の再生が可能となっている。充電はFireWireケーブルを介して行われ、FireWireパワーアダプターが付属する。また、Macと接続した場合はFireWire経由でMacから自動的に充電される。

音楽フォーマットとしてはMP3(可変ビットレートにも対応) WAV、AIFFに対応。MP3は320kbpsのビットレートまで対応している。さらに将来にわたるオーディオフォーマットをサポートするためにファームウェアのアップグレードも可能となっている。

160x128ピクセルのバックライト付きモノクロ液晶画面は英語、フランス語、ドイツ語、日本語での表示が可能。スクロールホイールにより親指だけの操作でプレイリストへのアクセスが可能になっている。

同時にiPodをサポートしたソフトウェアiTunes2を発表。Auto-Syncにより、FireWireでiPodをMacに接続するだけでiTunesの最新プレイリストをiPodにダウンロードできる。

(10/24)

パイオニア、HDD 搭載のデジタルオーディオジュエックスを発表

パイオニアは、一体型オーディオシステムとしては業界で初めて、CDプレーヤーとハードディスク、マジックゲートメモリステ

ィックスロットを搭載した「HDD DIGITAL JUKEBOX」X-HD1」を発表した。発売は2001年11月中旬、オープン価格。

X-HD1は、音楽圧縮規格にATRAC3を採用。2.5インチ6GBのハードディスクを内蔵しており、音楽CDを直接ATRAC3にエンコードして保存できる。ビットレートは132または105kbpsを選択可能。

CDプレーヤーは最大8倍速、平均5倍速のドライブを採用、60分CDなら約12分からハードディスクへの保存が完了する。

また、著作権保護技術OpenMGを搭載しており、音楽CDからハードディスクに保存する際に音楽データを暗号化し、不正コピーを防止している。

本体にはマジックゲートメモリスティックスロットを搭載、CDからハードディスクに保存した曲を、マジックゲートメモリスティックに転送することができる。その際には、本体に搭載している著作権保護技術OpenMGとマジックゲートメモリスティックの間で1対1の相互認証を行い、ハードディスクからマジックゲートメモリスティックへ転送する回数を制限する。

また、メモリー内蔵型ポータブルオーディオ(OpenMG対応機種)の場合はPORTABLE LINK端子と接続することでハードディスクから音楽を転送することができる。

ハードディスク内には数年前から2001年上半期にかけて発売されたCDソフト約8万件のタイトルデータが既に収録されており、合致するCDをセットすると「アルバム名・アーティスト名・曲名」が自動表示され、タイトルデータごとCDからハードディスクへ保存することができる。また、CD TEXT対応のCDであれば、録音時にテキストデータもハードディスクに保存することが可能。データが収録されていないCDの場合は付属のリモコン10キーでの文字入力が可能となっている。

スピーカーは1つのスピーカーに2つのユニットを搭載した「DIRECT DIFFUSEスピーカー」を新たに開発。正面に搭載したユニットでDIRECT(直接)音を、天面に搭載

したユニットでDIFFUSE(拡散)音を出し、音に包みこまれるような臨場感を実現している。また、厚さ3mmのアルミ無垢材をボディに使用することで不要な共振を抑え、高音質を実現している。

(10/24)

Intel、0.13μm プロセスのフラッシュメモリを発表

Intelは、0.13μmプロセス技術で製造する32Mbitおよび64MbitのフラッシュEEPROM「3 Volt Advanced+ Boot Block」を発表した。

この製品はAdvanced Boot Blockファミリの一部となり、携帯電話やPDAなどアドレス帳といったユーザーデータを格納する目的に利用される。

これまでの0.18μmプロセス技術によるフラッシュメモリ製品に比べチップサイズで約50%、消費電力も少なくなる。このプロセス技術で最大512Mbit製品まで製造が可能としている。

32Mbit製品のサンプル出荷は2001年第4四半期、量産出荷は2002年第2四半期予定で1万個ロットでの単価は1300円。64Mbit製品は、サンプル出荷が2002年第2四半期、量産出荷は2002年第4四半期開始予定で1万個ロットでの単価は2300円。

(10/24)

経産省、インターネット通販における画面表示のガイドラインを公開

経済産業省は、「インターネット通販における『意に反して契約の申込みをさせようとする行為』に係るガイドライン」を公表した。

PCの画面上で申込みができるようなインターネット通販に関しては、2001年6月1日より特定商取引法第14条によって、事業者に対し、分かりやすい申込画面の設定を行うことが義務づけられている。

この規定に基づき、省令第16条では、「顧客の意に反して契約の申込みをさせようとする行為」の具体的内容を定めている。この内、第1号と第2号がインターネット通販に

対応した規定。

具体的には、(1)顧客がパソコンの操作を行う際に、申込みとなることを容易に認識できるように表示していなかったり、(2)申込みを受ける場合において、顧客が申込みの内容を容易に確認及び訂正できるようにしていない場合には、行政処分の対象となる。

今回公表されたのは、経済産業省における解釈基準として、本法において分かりやすい又は分かりにくいと判断される画面の例を整理したもので、今後、さらに、追加・修正を重ね、インターネット通販の取引の健全な発展と適切な消費者保護に資するガイドラインとしていきたいとしている。

(10/24)

富士写真フィルム、MP3 再生機能搭載デジカメの新モデルを発表

富士写真フィルムは、「FinePix40i」「FinePix50i」に続き MP3 オーディオ機能を搭載したデジタルカメラ FinePix'i シリーズ」のニューラインナップ「FinePix30i」を発表した。発売は2001年11月23日、メーカー希望小売価格は64,800円(税別)。

対応フォーマットは MP3 のみ。サンプリングレート 44.1kHz、ビットレートは 128/112/96kbps に対応する。

記録メディアにはスマートメディアを採用、オーディオファイルは128MBまでのID付きスマートメディア(3.3V)に記録することができる。著作権保護のための暗号化技術には NTT 東日本、NTT、神戸製鋼の共同開発による InfoBind を採用している。

電源には単3形ニッケル水素電池2本を使用、新たな省電力設計によりオーディオ再生時間で約4.5時間を実現している。

曲名やアーティスト名の表示が可能な液晶バックライト付きのリモコンが付属。音楽データを MP3 ファイルに高速変換&編集するソフトウェアも付属する。

デジタルカメラとしての機能は有効画素200万画素の1/2.7型正画素原色フィルターCCDを搭載。携帯電話に画像を送信できる携帯電話接続機能を搭載している。

ボディカラーはシルバー・オリオンブルー・ローズピンクの3色。

(10/23)

Windows XP用 MP3 エンコーダ アドオンパッケージを発表

Microsoft、CyberLink、InterVideoの3社は、Windows XP用にアドオンパッケージとして「MP3 Creation Pack」「DVD Decoder Pack」を発表した。

CyberLink の MP3 Creation Pack for Windows XP は製品名「MP3 PowerEncoder for Windows XP」CyberLink の Web サイトで\$9.95 で販売開始されている。現在は英語版のみだが、2001年11月中旬までに12カ国語に対応予定。Windows Media Player for Windows XP で音楽 CD から MP3 ファイルへのリッピングが行えるようになる。ビットレートは 64~256kbps。

InterVideo の MP3 Creation Pack for Windows XP は製品名「MP3 XP Pack」CyberLink の Web サイトで\$9.95 で販売開始されている。現在は英語版のみだが、2001年末までに10カ国語に対応予定。Windows Media Player for Windows XP で音楽 CD から MP3 ファイルへのリッピングが行えるようになる。ビットレートは 96~320kbps。

DVD Decoder Pack については、CyberLink 製が「PowerDVD SE for Windows XP」、InterVideo 製が「DVD XPack」、いずれも Windows Media Player for Windows XP で DVD ビデオの再生が可能となる。両者の Web サイトでは\$14.95 で販売開始されている。

3社は既に2001年7月に両製品のリリースを発表しており、今回は具体的な製品の仕様と価格の発表を行ったもの。

(10/23)

NTT Com、音楽配信サービスに ATRAC3 と NetMD を追加

NTT コミュニケーションズ (NTT Com) は、コンテンツ配信プラットフォーム「Arcstar MUSIC & VIDEO」において

「ATRAC3」及び「Net MD」にも対応可能な音楽配信サービスを、2001年10月24日より開始すると発表した。

NTT Com の Arcstar MUSIC は、2000年12月より WMT方式による配信サービスを開始、さらに2001年3月からは EMDLB方式を追加、今回、新たに ATRAC3 に対応することで、著作権保護技術に対応した主要な3つの音声圧縮技術である ATRAC3、WMA、AAC の全てに対応することになる。

今回の ATRAC3 への対応は、著作権保護技術「OpenMG」も「MagicGate」にも対応可能となったことで、ユーザーがマジックゲートメモリースティック対応の各種オーディオプレイヤーを利用することが可能になった。

さらに、PC と MD 機器との間の認証、音楽データの高速度転送などの仕様を含む「Net MD」規格にも対応しており、ユーザーはインターネットで配信された楽曲を NetMD 対応機器を通して MD に記録することが可能となっている。

ATRAC3 で配信する楽曲については、第一弾として BMG ファンハウスから提供され、Arcstar MUSIC & VIDEO のサイトで2001年10月24日よりダウンロード可能となる。

また、今後、日本クラウン、セーニャ・アード・カンパニー、トイズファクトリー、徳間ジャパンコミュニケーションズ、パップ、プロシード、ポニーキャニオンが ATRAC3 での配信を予定しているとしている。

(10/23)

MP3.com、音楽配信インフラ技術提供会社を設立

米 MP3.com は、音楽配信インフラ技術提供会社として MP3 Technologies を設立、今後は2社体制でビジネスを進めていくと発表した。

MP3 Technologies は、親会社となる Vivendi Universal に対して、MP3.com の音楽配信サービスのために開発、構築された音楽またはメディア配信インフラアプリケーションを提供していく。

(10/22)

NEC、家庭向けノート PC のオプションとして SD オーディオプレーヤーを発表

NEC は、WindowsXP Home Edition 搭載のノート PC を発表、LaVie C および LaVie T の対応オプションとして SD オーディオプレーヤー「InfoAudio (PC-VP-WU15)」を発表した。発売は 11 月上旬予定、オープン価格。

InfoAudio は、LaVie C シリーズおよび LaVie T シリーズに搭載されている「メディアポケット」に対応した携帯オーディオプレーヤー。本体ごとメディアポケットに収納することで楽曲やその他のデータのやり取りを行う。

音声圧縮方式は AAC と MP3 に対応。CD からのリッピングだけでなく、インターネットからダウンロードした著作権保護対応の楽曲ファイルにも対応している。

また、InfoAudio 本体には SD カード、MMC スロットを搭載、両メディアへのデータの書き込みも行うことができる。PC から自動的にメールを読み込み閲覧可能とする機能 (最大 99 件、250 文字/件)、カレンダー機能、Audio タイマー機能、テレビの録画機能など各種情報を液晶画面で確認、利用することができる。

LaVie C の「LC900/1D」および「LC300/1A」、LaVie T の「LT900/1D」には標準で添付される。標準添付品には Kiroro の「Best Friend」が収録された 8MB の SD カードが付属する。

なお、メディアポケットを装備した「LaVie T」7 月発表モデルにも対応するが、WindowsXP Home Edition でのみ利用可能となっている。

(10/22)

JASRAC、STEP2001 の結果を公表

社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC) は、音楽「電子透かし」技術の最終選定作業「STEP2001」が完了、評価作業と 4 社の技術認定を行ったと発表した。

「STEP2001」は、2000 年に実施された

「STEP2000」の結果を踏まえ、音楽電子透かしの利用の国際的なガイドラインとすべく「利用可能な技術水準」を具体的に策定し、こうした「能力を有する技術(企業)」を選定することを目標として実施されたもの。

電子透かしの技術評価は耐性と音質の 2 つの視点で行われた。耐性は、音楽利用のための様々な処理を経ても挿入した透かしデータが抽出できること、音質は、透かしデータを挿入した音楽を、スタジオ環境で再生し、Golden Ear、Silver Ear が聴いても、透かしデータが挿入されていることが認知できないことを求めている。

その結果、利用可能な技術を実現できる企業として、下記の企業を認定している。

・利用可能な技術水準をクリアする企業
IBM、Verance

・利用可能な技術水準のクリアが見込まれる企業
エム研、MarkAny

総括としては非認定企業も含め、STEP2000 と比較し、耐性、音質の両面で全体として大きく向上したとしている。JASRAC では、今回認定した各社との協力により、年度内に音楽電子透かし抽出技術を導入した実証実験を開始する予定。

また、これら技術の利用促進のために、積極的に協力する配信事業者の著作権使用料の割引、事業者への技術導入に関する会議の開催(年内予定)の実施を予定しているという。

(10/19)

イーズ・ミュージック、精算へ

ソフトバンク・イーシーホールディングス (SBEC) は、子会社であるイーズ・ミュージック株式会社の解散を決定したと発表した。

イーズ・ミュージックは、インターネットによる音楽配信及び、音楽関連情報、サービスの提供を目的として 1999 年 12 月 28 日に設立された。

当初は 2000 年春のサービス開始と発表され、一度は 2000 年夏のサービス開始とアナウンスした後、無期限の延期となっていた。

SBEC では、同時に 3 社の子会社の解散を発表しており、その理由として各事業における市場規模を再評価した結果、将来収益を確保することが困難であると判断したものとしている。

現在は 2002 年 3 月期中結了を目標に会社清算事務を遂行中となっている。

(10/19)

ITU-R WP8F 東京会合では IMT-2000 の高度化と後継システムについて議論

総務省は、2001 年 10 月 10 日より 16 日まで、33 ヶ国より約 250 名が出席し、東京において開催された国際電気通信連合 (ITU) の第 6 回 ITU-R WP8F 会合の内容を明らかにした。

この会合では、IMT2000 (第 3 世代移動通信システム) の高度化と後継システムについて議論が行われた。

次世代となる第 4 世代移動通信システムについては、日本の提案した基本コンセプト (携帯電話システムと無線 LAN 等のシステムが連携し、2010 年頃までに高速移動時に 50~100Mbps 程度の通信速度を実現) が受け入れられ、今後このコンセプトを基に議論を進めることで合意された。

今後、2002 年 6 月に WP8F による勧告案として取りまとめられ、2003 年に開催される無線通信総会において ITU 勧告として承認される見込み、としている。

また、IMT2000 無線方式については、W-CDMA に最大で 8Mbps 超のパケット伝送を下り方向で行うことが可能で同時に音声の伝送も可能な HSDPA (High Speed Digital Packet Access) 方式を、CDMA-2000 には最大で 2.4Mbps 超のパケット伝送を下り方向で行うことが可能でパケット伝送と同時に音声の伝送も可能な 1x EV-DV (1x Evolution Data with Voice) 方式が勧告に追記することで合意された。

WP8F (ワーキングパーティ 8 エフ) は、国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R) 第

8 研究委員会 (SG8) の中で、IMT 2000 の高度化及び第 4 世代移動通信について検討を行っている専門家会合。現在は、2003 年に開催される予定の無線通信総会 (RA(Radiocommunication Assemblies)、研究委員会の上部組織) を目途に活動している。今回は第 6 回目の会合であり、第 7 回会合は 2002 年 2 月、ニュージーランドで開催される予定。

(10/18)

Microsoft と Samsung、デジタル家電分野で提携

米 Microsoft と韓国 Samsung Electronics は、家庭向け PC 及びデジタル家電の分野で包括的な提携をしたと発表した。

両者は Samsung のハードウェアと Microsoft の Windows Media Technologies を含む Windows ソフトウェアをベースにした新しいジャンルの製品を共同で開発、市場に投入していく。

これは Microsoft 内に 2001 年始めに設立された eHome 部門の最初の戦略的提携となる。

今回の提携に基づき、Samsung は、Windows Media Technologies、.NET プラットフォーム、eHome initiatives を含む、デスクトップ用、組込用 Windows ソフトウェアの製品及び技術をサポートする。

その例として、Samsung は、Samsung Digital Platforms ビジョンの一部となる smart digital appliances の開発において、WindowsCE に対する投資を拡大するとしている。

(10/18)

総務省、全国ブロードバンド構想を発表

総務省は、高速・超高速インターネットの全国的な普及に関する 2005 年度までのスケジュールや官民の役割分担、実際の利用見込み、ブロードバンドの普及により期待される社会生活の変化を明らかにした「全国ブロードバンド構想」を発表した。

これは、2001 年 8 月 30 日に公表した「平成 14 年度に向けての政策推進プラン」及び

2001 年 9 月 21 日に経済財政諮問会議において政府が決定した「改革工程表」において、総務省が早急に作成するとしていたもの。

この中ではまず、高速・超高速ネットワークインフラ整備として、以下の 3 つを目標として掲げている。

- ・2005 年度までに少なくとも 3000 万世帯が高速インターネットアクセス網に、1000 万世帯が超高速インターネットアクセス網に常時接続可能な環境を整備
- ・地理的要因によるデジタル・デバイドの発生を防止
- ・2005 年度までに地域公共ネットワークの全国整備を図る

特に 2 点目に関しては、民間事業者による整備により都市部を中心に「1000 万世帯」の目標は達成されるものの、地理的要因による「デジタル・デバイド」を是正する観点から、加入者系光ファイバ網の公的整備が必要、としている。

高速・超高速インターネットの普及予測については、実加入世帯数ベースで 2005 年度には 2000 万世帯弱まで普及すると見ており、回線種別についても当面は DSL が高速・超高速インターネットアクセスの主流を占めるが、光ファイバ網を活用した超高速インターネットが 2003 年度から急速に普及し、2005 年度には DSL を逆転するものと予測している。

また、高速・超高速ネットワークで実現される高度な公共アプリケーションによる生活の変化として、ブロードバンドによってもたらされる具体的な生活の変化についても言及している。

(10/18)

NTT-ME、京成のマンションに 15Mbps のブロードバンドサービスを提供

エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME) は、京成電鉄 (京成) が 2002 年 3 月に部分竣工する東京都葛飾区内の大規模マンションに、最大 15Mbps の高速通信が可能な VDSL 方式を採用した、ブロードバンド・インターネットシステムを導入すると発表した。

導入されるのは京成が葛飾区内に建設を進めている大規模マンション「サングランデ セレスタージ」(竣工:2002 年 10 月、総戸数:197 戸)。

NTT-ME では、NTT 東日本の加入者光ファイバ・アクセスサービス『B フレッツ「ビジネスタイプ」』の 100Mbps 回線をマンションに引き込み、VDSL 方式により各戸で共用し、上り下り最大 15Mbps のブロードバンド・インターネット常時接続環境を提供する。インターネット接続サービスには NTT-ME の「WAKWAK (わくわく)」を利用し、月額 2,200 円で 1 世帯当たり 50MB までのホームページ容量と電子メールアドレス 1 つが提供される。

また、ブロードバンド環境を活かしたサービスとして、京成ビルサービスが、マンション居住者専用のホームページを開発・運営して、ネットスーパーによる生鮮食料品や日用品の宅配サービスをはじめとした、総合生活情報サービスを居住者向けに提供する予定。

さらに共用棟「プラザハウス」に、8 台のパソコンが同時にインターネット接続可能な「スタディールーム」を開発、NTT-ME による IT 教室を開催する予定としている。

(10/17)

シャープと SOMA、ホームネットワーク機器開発協業に合意

シャープと米 SOMA Networks, Inc. は、無線でブロードバンドインターネットと音声サービスを同時に提供できる、次世代ホームネットワーク機器群を共同で開発することで合意したと発表した。

SOMA は、W-CDMA ベースの無線アクセス技術を利用した「Amosphere」という固定無線アクセスのためのアーキテクチャーを提唱している。

Amosphere の基地局用設備「NPM (Network Port Manager)」は半径 3~5 マイルをカバーし、IP 技術の採用により 1 ユーザーあたり最大 12Mbps のインターネット接続と通話会社並みの音声品質の電話サービスを提供できるとしている。

一方、ユーザー側には USB、Ethernet、ア

ナログ電話ポートなどの端子とともに、DHCP や NAT、パケットフィルタリングなどブロードバンドルーターとしての機能も備えた「SOMApport」というゲートウェイ機器が提供され、PC やアナログ電話機などの家庭内ネットワーク端末を接続する。

このAmosphere は、PtoP にも似た分散型コンピューティング技術を適用したシステムを実現しており、交換機等の設備が不要となっている。そのため、通信事業者は SOMA の技術を利用することにより、比較的安価にインフラを構築でき、加入者数の増加への対応や、課金を含む顧客管理にも容易に対応が可能と期待されている。

なお、利用する無線帯域は現在、1.9GHz 帯、2.5GHz~2.6GHz 帯に対応しているほか、3.5GHz 帯などへも対応する予定としている。

SOMApport は現在、SOMA 自身が開発しているが、今回の合意に基づきシャープは得意の液晶技術や、このネットワーク商品に不可欠なデジタル技術、無線技術、小型化設計技術、生産技術、量産技術に加え、コンシューマ市場における豊富な経験を生かし、北米市場に向け 2003 年度を目標にホームネットワーク機器を商品化する予定としている。

(10/17)

QCT、HDR 用チップセットの出荷を開始

米 QUALCOMM CDMA Technologies (QCT) は、最大伝送速度が 2.4Mbps のデータ通信専用方式「CDMA2000 1xEV-DO (HDR)」に対応したモバイル用チップセットの出荷を開始したと発表した。

提供するチップセットは、移動端末用の「MSM5500」と基地局用の「CSM5500」の 2 種類。

MSM5500 は、現在出荷している最大伝送速度 144kbps の「CDMA2000 1X」方式にも対応するハイブリッドモードをサポートし、新たな機能も追加されている。

新たな機能には、短距離無線通信方式「Bluetooth1.1」のドライバソフト、位置検索機能「gpsOne」と「Snaptrack」、MP3 再

生機能「Qtunes」、MIDI ベースのマルチメディア再生機能「Compact Media Extension (CMX)」などがある。

QCT は、米 QUALCOMM の半導体部門子会社。これらのチップセットはアルプス電気、カシオ、富士通、日立、ヒュンダイ、京セラ、LG、サムスン、三洋電気、東芝など端末メーカー、基地局メーカーに提供されている。

(10/16)

CME、ロシアの未公開クラシック音源を独占配信

サイバー・ミュージックエンタテインメント (CME) は、韓国イエダン・エンタテインメントと音楽コンテンツの配信利用における包括的提携に合意、2001 年 11 月よりイエダンが権利を保有するロシアの未公開クラシック音源を国内独占で配信すると発表した。

楽曲の販売形態は CD によるパッケージ販売と会員制のインターネット配信の 2 通り。

CD パッケージによる販売については 1 タイトル 2,800 円~3,200 円で、年間 300 タイトルを提供する。

インターネット配信は、月額 1,000 円の A 会員はネット上のすべての曲を試聴可能、月額 3,000 円の B 会員はネット上のすべての曲を試聴およびダウンロード可能、月額 10,000 円の C 会員はネット上のすべての曲を試聴およびダウンロード可能かつパッケージ CD を月間 5 枚提供される。

イエダンが権利を保有する楽曲は旧ソ連国営放送局「オスタンキノ」、「メロディア」の音源で著名な音楽家、演奏家の楽曲は 40 万曲にも及ぶとされる。

CME は、旧リキッドオーディオ・ジャパン。2001 年 10 月 1 日付けで社名を変更し、LiquidAudio との契約も解除している。

(10/16)

NTT ドコモ、Picwalk P711m を無料バージョンアップ

NTT ドコモは、音楽配信サービス「M-stage Music」対応端末「Picwalk P711m」について、128MB の SD カードが

利用できるようになる無料バージョンアップサービスを開始した。

Picwalk P711m は、これまで 64MB までの SD カード対応となっており、より大容量の SD カードには対応していなかった。

今回のバージョンアップは 128MB の SD カードを利用できるようにするもの。

ユーザーは、ドコモショップ・ドコモ各支店窓口で Picwalk P711m を持ち込み、預ける形を取る。期間は 1 週間程度としている。

なお、注意事項として、預け中の代替機は用意されないこと、その間の基本使用料はかかること、バージョンアップ終了後は取り次ぎ窓口へ引き取りが必要なこと、ユーザーデータの保証はしないことを挙げている。

(10/15)

【EMD プレーヤー 2001 年秋冬モデル一覧】 -追加-

アップル
iPod



記録媒体：5GB ハードディスクドライブ
対応圧縮方式：MP3 (可変ビットレートに
も対応)、WAV、AIFF
サイズ：61.8x102x19.9mm
重量：185g
メーカー希望小売価格：47,800円 (税別)
発売日：2001年11月10日

20 分間の音飛び防止用メモリ搭載。インターフェイスに FireWire を採用。電源にはリチウムポリマー充電電池を採用、連続 10 時間の再生が可能。充電は FireWire ケーブルを介して行われ、FireWire パワーアダプターが付属する。また、Mac と接続した場合は FireWire 経由で Mac から自動的に充電される。160x128 ピクセルのバックライト付きモノクロ液晶画面は英語、フランス語、ドイツ語、日本語での表示が可能。スクロールホイールにより親指だけの操作でプレイリストへのアクセスが可能になっている。iPod をサポートしたソフトウェア iTunes 2 の Auto-Sync により、FireWire で iPod を Mac に接続するだけで iTunes の最新プレイリストを iPod にダウンロードできる。

NEC
InfoAudio
PC-VP-WU15



記録媒体：SD カード/MMC
対応圧縮方式：AAC/MP3
サイズ：110 x 35 x 8mm
重量：40g
メーカー希望小売価格：オープン
発売日：2001年11月上旬

LaVie C シリーズおよび LaVie T シリーズに搭載されている「メディアポケット」に本体ごと収納することで楽曲やその他のデータのやり取りを行う。PC から自動的にメールを読み込み閲覧可能とする機能 (最大 99 件、250 文字/件)、カレンダー機能、Audio タイマー機能、テレビの録画機能など各種情報を液晶画面で確認、利用することができる。

富士写真フイルム
FinePix30i



記録媒体：ID 付きスマートメディア
対応圧縮方式：MP3
サイズ：84.7x72.5x29.5mm (突起部含まず)
重量：150g (電池、スマートメディア含まず)
メーカー希望小売価格：64,800円 (税別)
発売日：2001年11月23日

曲名やアーティスト名の表示が可能な液晶バックライト付きのリモコンが付属。デジタルカメラとしての機能は有効画素 200 万画素の 1/2.7 型正方形画素原色フィルター CCD を搭載。携帯電話に画像を送信できる携帯電話接続機能を搭載している。ボディカラーはシルバー・オリオンブルー・ローズピンクの 3 色。

パイオニア

"HDD DIGITAL JUKEBOX" 「X - HD1」



記録媒体：6GB ハードディスクドライブ/
マジックゲートメモリスティック
対応圧縮方式：ATRAC3
サイズ：135x114x140mm (本体部)
/95x195x95mm (スピーカー部)
重量：1.2kg (本体部) / 1.0kg (スピーカー部 - 1 台)
メーカー希望小売価格：オープン
発売日：2001年11月中旬

CD プレーヤーは最大 8 倍速、平均 5 倍速のドライブを採用、CD から直接ハードディスクへ ATRAC3 での保存が可能。ハードディスク内には CD ソフト約 8 万件的タイトルデータが既に収録されており、「アルバム名・アーティスト名・曲名」が自動表示され、タイトルデータごと CD からハードディスクへ保存することができる。データが収録されていない CD の場合は付属のリモコン 10 キーでの文字入力が可能。

EMD Magazine 第 7 号

発行 2001 年 10 月 29 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース